

テーマ つくる の えほん

しょめい	ちよしゃ	しゅっぱんしゃ	せいきゆうきごう	ないよう
わにわにのごちそう	小風 さち/ぶん 山口 マオ/え	福音館書店	SIホン	おおきなわにが、だいどころにいますよ。なまえは「わにわに」というので すって。わにわにはおなかがすいたので、おりょうりをするにしまし た。れいぞうこには、おいしそうなくがあります。エプロンをつけたらフラ イパンのでばんです。じょうずにやけるかな？
はりねずみのはりこ	なかや みわ/さく・え	福音館書店	SIホン	もりのようふくやで、はりねずみのはりこが、おばあさんをつだってい ます。おばあさんがつくるものは、どれもすてきです。はりこは「わたしもこ んなおしゃれがしてみたいなあ」とおもっていました。それをしたみんな が、いろんなことをかんがえてくれました。
べっこうあめパーティ	左巻 健男・津田 櫓冬/さく	童心社	Iホン/ツ	あるお月さんのきれいな晩のこと。あたごの浦の砂浜は、お月さんに照 らされて、キラキラ光っていました。あんまりきれいなので、魚たちは演芸 会をすることにしました。歌ったり、踊ったり、芸をしたり「妙々々々々々」 というかけ声も楽しくはやしたてます。
つるのおんがえし	磯 みゆき/文 黒井 健/絵	小学館	Iホン/ク	ゆきのちらつくさむいばんのこと。つるをたすけたわかもの家に、うつ くしいむすめがやってきます。ひとばんとめるはずが、むすめのねがいで いっしょにくらすようになりました。あるひ、よめさまは中をのぞかないこと をやくそくさせて、なんとへはいっていきました。
プレツェルのはじまり	エリック・カール/作 アーサー・ビナード/訳	偕成社	Iホン/カ	ウォルターは、まちでいちばんおいしいパン屋さん。王さまも女王さま も、まいあさたべています。ある日、ねこがぎゅうにゆうのたるをたおした ので、だれもきづかないだろうと、みずでこねたパンをつくります。でも、い つものパンとちがうことに王さまはきづきました。
皇帝にもらった花のたね	デミ/作・絵 武本 香奈絵/訳	徳間書店	Iホン/テ	ピンという花のすきなおとこのこがいました。ピンがそだてると花はとて もきれいにさきました。このくにのひとたちも、としとつた皇帝も花がだいす きでした。あるとき、皇帝はよつぎをえらぶのに、花のちからをかりてきめ ることにしようとかんがえました。